

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品の名称
供給者の会社名称、住所及び電話番号

サトウキビのちから水100
日本アルコール産業株式会社
東京都中央区日本橋小舟町6番6号
TEL:03-5641-5255、FAX:03-5641-5256

問い合わせフォーム
緊急連絡電話番号
推奨用途及び使用上の制限

https://j-alco-com.prm-ssl.jp/kannrenn.html
03-5641-5255
液体肥料。必ず水で希釈して使用すること。

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類
GHSラベル要素
他の危険有害性

分類できない
該当なし
該当なし。不燃物である。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別
化学名又は一般名
化学物質を特定できる一般的な番号

単一製品
有機液体肥料
CAS番号に該当なし

濃度又は濃度範囲(%)

成分名称	サトウキビのちから水100
糖蜜発酵濃縮液	100%

4. 応急措置

吸入した場合

速やかに被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは、医師に相談すること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーでよく洗うこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合

水泡、痛みなどの症状が出た場合には、医師に相談すること。
直ちに清浄な水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

目の刺激が続く場合は、医師に相談すること。
直ちに清浄な水で口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは、速やかに医師に相談すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、散水、乾燥砂など
情報無し
火災によっては、包装容器等から刺激性、毒性のガスを発生するおそれがある。
消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合、周囲の設備等に散水等して冷却の後、危険でなければ容器を速やかに安全な場所に移動し、必要に応じ水を用いて容器を冷却する。容器破損の場合は容器に水を入れないようにする。
消火のための散水等により、環境に影響が及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、防火用具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
環境に対する注意事項

直ちに全ての方向に適切な距離をとり、漏洩地域として隔離し、関係者以外の出入りを禁止する。
漏出物及び漏出物処理の際の廃液等が、排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖空間に流入するのを防止する。環境への放出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏出を止める。可能ならば、漏出した液を別の容器に集める。
集められない漏出液は、不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で吸収させ、安全な場所に移す。その後廃棄するが、廃棄方法は「13. 廃棄上の注意」を参照。

二次災害の防止策

特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策
安全取扱注意事項

必要に応じ保護具を用意するとともに、作業場には洗顔器と安全シャワーを設け、また高温となるところには換気装置を設置すること。(「8. 暴露防止及び保護措置」参照。)

保管 接触回避
安全な保管条件
安全な容器包装材料

この製品を取り扱うときは、原則として保護具を着用すること。
また原則屋外で取り扱い、ハウス内・屋内の場合は換気に気をつけること。
この製品への直接の接触、吸入又は飲み込まないこと。取扱い後には手を洗うこと。
この製品を使用するときは、周囲で飲食又は喫煙をしないこと。
「10. 安定性及び反応性」を参照。
直射日光及び高温多湿を避け、換気の良いところに保管する。
特になし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 日本産衛学会(2019年度版)
ACGIH(2019年版)

未設定
未設定

設備対策

この製品を貯蔵又は取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
高温下での取扱いでミスト、ガスが発生する場合は、換気装置を設置すること。

保護具 手の保護具
眼の保護具

適切な保護手袋を着用すること。
適切な眼の保護具(保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付普通眼鏡型、ゴーグル型等))を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣等を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	黒色
臭い	特徴的なにおい
融点/凝固点(°C)	-6.2
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	なし
爆発下限及び爆発上限/可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	4~5
動粘性率	情報なし
溶解度	水:可溶
n-オクタノール/水分配係数(log値)	≤0.3
蒸気圧	情報なし
相対密度(20°C, kg/m ³)	1,100~1,200
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
粘度(粘性)(20°C, mPa·s)	30~40

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性	弱酸性である。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	ラットのLD50値 (OECD TG 423) として、2,000 mg/kg以上。
皮膚腐食性/皮膚刺激性	刺激性でない(ウサギ)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	刺激性でない(ウサギ)
呼吸器感作性	データがなく分類できない
皮膚感作性	刺激性でない(ウサギ)
生殖細胞変異原性	データがなく分類できない
発がん性	データがなく分類できない
生殖毒性	データがなく分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データがなく分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データがなく分類できない
誤えん有害性	データがなく分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性 水生環境有害性 短期(急性)	メダカのEC50値 (OECD TG 203)として、1,000 mg/kg 以上。オオミジンコのLD50値 (OECD TG 202)として、1,000 mg/kg 以上。藻類のIC50値として、1,000 mg/kg 以上 (OECD TG 201)。
水生環境有害性 長期(慢性)	無影響濃度としてメダカのLC50値 (OECD TG 210)として、1,000 mg/kg。オオミジンコのEC50値 (OECD TG 211)として、1,000 mg/kg。藻類のIC50値として、1,000 mg/kg (OECD TG 201)。
残留性・分解性	データがなく分類できない
生態蓄積性	データがなく分類できない
土壤中の移動性	データがなく分類できない
オゾン層への有害性	データがなく分類できない。モントリオール議定書リストに掲載無し。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	この製品は輸送規制の対象ではない。
国内規制	国内法に従う。
輸送の特別な安全対策	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認すること。転倒、落下、破損が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。所要の保護具等を用意すること。

15. 適用法令

法規制情報は改訂年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。	
肥料の品質の確保等に関する法律	特殊肥料

16. その他の情報

参考文献	各データ毎に記載した。
------	-------------

この安全性データシートは、JIS Z 7253:2019に準拠して作成しております。
記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しているため、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、新しい知見及び試験等により改訂されることがあり、内容を保証するものではありません。また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上でお取扱い願います。